

6年 子どもたちのよさをさらに伸ばすために

1学期が終了し、子どもたちと過ごしてみて、さまざまなよい面を発見することができました。2学期以降は、1学期の学習や生活経験を生かし、次のような点に力を入れて授業の充実を考えています。

国語

- ・学習効果測定において、「言語文化に関する事項」、「話すこと・聞くことに関する事項」の問題で目標値を上回っている。話型や漢字など基礎基本の定着を図る指導を継続的に行った成果が表れている。
- ・学習効果測定において、「書くことに関する事項」、「読むことに関する事項」の問題で目標値を下回っている。文章の構成を捉えて自分の考えをさらに深める活動を充実させたり、語彙を広げる活動に取り組んだりして自分の考えを表現する力を伸ばしていけるようにする。また、文の構成や、指示語について普段の学習から意識させて読むことに関する力を伸ばしていく。

社会

- ・学習効果測定において、全体的に目標値を下回っている。基礎的知識の定着・資料を読み取る力の伸長を図るために、複数の資料と関連付けて指導したり、ICTを活用したりするなど指導を充実させていく。
- ・多角的に資料を見ることができるよう、グラフを読み取る視点を与える。その上で、複数の資料を関連付けて考えさせるようにする。
- ・歴史、政治においても自分たちの生活との関わりを取り上げるようにする。
- ・重要語句の理解が定着するように、繰り返し取り上げて指導する。

算数

- ・学習効果測定において、全体的に目標値を下回っていた。指導に具体物、半具体物を積極的に用いることで、基礎基本の定着を図る。また、ICTを活用して視覚的にも事象を捉えられるようにする。
- ・タブレットドリル等を活用し、既習事項の定着を図る。
- ・基本的な計算は、東京ベシックドリル等の指導を通じて継続的に取り組み、計算力の育成を図る。

入新井第二小学校の6年生

学級活動

- ・児童の創意工夫を生かし、一人ひとりの良さが発揮できるようにする。
- ・学校全体に関することについてよりよい学校生活を送るためにどうしたらよいか考えられるようにする。

理科

- ・学習効果測定において全体的に目標値を下回る結果が出ている。児童一人ひとりが観察・実験・記録を全て行えるよう活動内容を工夫し基礎基本の定着を重視した指導を行う。
- ・まとめの場面でワークシート等を活用して、学習内容や重要語句の定着を図る。
- ・児童が問題を見出すことができるよう、事象提示を工夫する。

家庭科

- ・視覚的教材を活用し、家庭生活に必要な基礎的・基本的な知識・技能を習得できるようにする。
- ・ミシンや裁縫道具を使った、日常生活に生かせる物の作品製作を行い、意欲的に取り組めるようにする。

図工

- ・創造活動を楽しみ、体全体を使いながら、自分らしい作品を仕上げられるようにする。
- ・作品を鑑賞したり、話し合ったりすることで、作品の新たな「よさ」に気付かせる。

体育

- ・運動の特性に応じた技能を身に付けさせるために、練習方法や活動の場の工夫をする。ポイントになる動きを繰り返し指導する。
- ・ICTを活用して協同的な学習に取り組み、運動する楽しさや上達する喜びを味わえるようにする。

音楽

- ・曲想や情景、楽曲のもつメッセージを感じ取る力を育てていく。
- ・楽曲への興味を高める活動を行わせ、音楽を形づくっている要素を感じ取る能力を身に付けさせる。

ICTの活用

- ・タブレットの活用を通して、表現力を養う。また、交流の場で活用することで、視覚的に思考を示したり、論理的に表現したりする力を養う。